

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 20障害者施設費

◎障害者施設の経費

障害者施設管理運営事業

【 発達支援室 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 障害児等

意図 障害児等に余暇活動の場を確保することにより、その家族の介護に係る身体的及び精神的な負担を軽減し、障害児等及びその家族の福祉の増進を図るため。

効果 障害児放課後・余暇支援施設の複数整備により、障害児等が安心して活動できる場が拡大するとともに、利用希望者の増加に対応する。

【事業の内容】

(1) 障害者施設管理運営事業

- ・ 障害児放課後・余暇支援施設の維持管理を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

深沢こどもセンターの運営(公立保育園等管理)(4-1-4-⑩)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,888	1,888	1,259		629

主な支出内訳

- ・ 障害者施設管理運営事業

障害児放課後・余暇支援施設光熱水費

1,124

電信料

61

ケーブルテレビ使用料

74

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ①障害児活動支援センターとしての災害時の対応。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ①非常災害時のための災害マニュアルを作成するとともに、障害児活動支援センター単独での避難訓練を4月と11月の2回実施した。 ②移動困難児童が安全に避難できるよう、施設職員全員が階段避難器具(イーバックチェア)の操作訓練を、毎月実施した。 ③近隣住民に施設を開放して利用者との交流を図る「さくらまつり」を、春休みに地域交流事業として実施した。また、就学前児童親子を対象とした「親子ふれあいデー」を毎月1回(8月を除く)土曜日に開催し、延べ63人が参加した。
	未解決の課題・問題点	①こどもセンター全体の総合訓練を計画したが、日程の調整がつかなかったため、未実施だった。 ②利用者懇談会を年2回開催する予定だったが、第2回目は出席者がなく中止とした。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ①総合訓練を年間計画に基づいて実施する。 ②保護者間のつながりを持てるよう保護者参加型のイベントを企画するなどして、保護者同士がコミュニケーションを取れる場を設定して、懇談会実施につなげていく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 無
	避難訓練等の定期的な実施により、安心して利用できる体制を徹底するとともに、施設間や地域住民と交流できるイベント等を計画的に実施する。				
担当課長氏名:		発達支援室長 安田 明			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 無
	施設の活動内容について、ホームページなどを活用した情報発信を行って市民への広報に努め、地域住民等との交流機会を増やして、障害児等の放課後余暇活動の充実を図る。				
担当部名	こどもみらい部	部長名	岡部 富夫		